

～ 道後商店街活性化イベント定着事業 「真暫寝哉(ましましいねたるかも)」～

国の重要文化財である道後温泉本館の改装120周年記念の「道後オンセナート2014」に合わせて、観光客だけでなく地域の人々を商店街に呼び込むための“BONダンス”や“行灯商店街”を実施。新しい道後を演出し、持続的な集客を図った。

所在地：愛媛県松山市道後湯之町15-23
TEL・FAX：089-931-5856
URL：<http://town.ehime-iinet.or.jp/dougo/index.asp>
組合員数：60名
商店街の類型：近隣型商店街

商店街の概要と事業を実施した背景

日本最古の温泉の一つとして知られ、文豪夏目漱石の小説「坊ちゃん」で有名な道後温泉。共同の外湯があり、国の重要文化財に指定されている道後温泉の本館と、伊予鉄道道後温泉駅を結ぶ250mのアーケード型の商店街。立地上、温泉利用の観光客が多いが、地元にとってもなくてはならない商店街で、小規模ながら土産物店や飲食を中心とした60店舗により構成されている。近年は、店主の高齢化と後継者不足が最大の課題となっており、若い力を商店街活動にどう取り込んでいくかが重要な鍵となっている。こうした中で、松山市が主催する「道後オンセナート2014」と連携し、商店街においても青年部が中心となって近隣の人々にアピールするためイベントを開催した。



実施した事業の概要

①いっぺん踊ろうやBONダンス～道後湯玉音頭～の開催

昨年度実施した本事業において誕生した「道後湯玉音頭BONダンス」を平成26年9月14日に開催。観光客と地域の人々がともに楽しめる祭りをさらに充実させ、秋の踊りを楽しんでもらった。当日は、約400名の参加者があり、商店街の内外を踊りながら練り歩き、最後は提灯で飾られた道後温泉本館の周りで踊った。また、BONダンスに合わせてマルシェを開催し、踊りと買い物を楽しんでもらった。

②もういっぺん珍デスコ(サイレント・ディスコ)の開催

地域の若者を街に呼び込むことを狙って「サイレント・ディスコ」を開催。ヘッドホンから流れる音楽に合わせて思い思いに踊るもので、ヘッドホンを付けた不思議な集団が突如商店街に現れ、様々なパフォーマンスを展開した。この催しは、9月20日と10月12日の2回開催され、地元のアーティストであるDJやVJ(映像を素材としたディスクジョッキー)が演出し、若者を中心とする参加者約380名がユニークなイベントを楽しんだ。また、BONダンス同様マルシェを合わせて開催し、観光客や地元の人に買い物を楽しんでもらった。

③行灯商店街の実施

レトロな街並みをテーマに、8月30日～10月31日の間、俳句と押し花で装飾した二種類の行燈と、紅白の提灯で商店街を装飾し、光の演出を行った。行燈と紅白の提灯による幻想的な世界は観光客など来街者に大変好評で、期間中の集客数は延べ1万名を超え、商店街のイメージ向上に大いに役立った。



成果と成功の要因

道後温泉の伝統文化を基に、観光客と地元のお客様が一体となったイベントを実施したことにより、事業終了後の通行量が土日祝日だけでなく平日も大幅に増加した。また、イベント開催の告知を、チラシやポスターを他地域へも配布し、PR活動を積極的に行ったことで商店街の認知度の向上につながった。

成功の要因としては、一つには商店街の青年部と婦人部が主体的に企画・運営を担当し、地域の若者の呼び込みに向けて積極的な取り組みを行ったこと、二つには道後温泉のレトロな街並みを地域資源として有効に活用したこと、三つ目には松山市が主催した「道後オンセナート2014」と連携を深めたことにより、結果としてより広範囲の集客を実現することができたと考えている。

今後の取り組み

新しい道後を演出した“行灯商店街”については、来街者から好評だったことから、今後も定期的に開催していく。また、“道後湯玉音頭”は、道後の新しい名物として育てていくため、商店街の婦人部が中心となって定期的に開催している「道後温泉まつり」や「道後夏まつり」等の場で披露して、地域の踊りとして認知度を高めていく。将来的には、“サイレントディスコ”も月一回程度の定期開催ができるように、青年部が中心となってイベントを企画し、主体的かつ持続的な取り組みにより、集客力の向上につなげていく。